

平成30年度における四條畷市市民総合センター及び四條畷市立公民館
の管理運営に対する評価票

所 管 課：教育委員会 公民館

評価対象：平成30年4月1日～平成31年3月31日

評価委員会開催日：令和元年10月17日

1 指定管理者

指定管理者	四條畷市ラーニングcommons
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間）
施設概要	収容713人の市民ホールを中心とした市立図書館・市立公民館を含めた複合施設で、市民の福祉増進と文化教養に寄与するために35年前に設置され、市民の文化意識の向上と地域文化を図る活動の拠点として、また地域住民にとって最も身近な学習拠点として利用されている。
指定管理料	42,400,000円（平成30年度）

2 管理運営の内容

項 目	30年度の状況
運営状況	<p>（1）平等利用の確保</p> <p>①利用者のために自主的に受付時間を21時まで延長。また、市主催事業等においては、担当課と綿密な打ち合わせを行い、事業に不要な施設を市民が利用できるよう調整した。</p> <p>②市民ホールの使用状況及び公民館空室状況を市民が閲覧できる場所に設置し、だれでも気軽に空室が確認できるようにした。</p> <p>（2）自主事業の展開</p> <p>①年4回の映画鑑賞会を行い、市内で映画鑑賞ができる機会を提供した。</p> <p>②乳幼児も参加できる「親子で遊ぼう！展示ホール開放デー」を実施し、親子のふれあいを促した。</p> <p>③イクメン写真展やパープル&オレンジリボン啓発事業等を実施し、男女共同参画や暴力、児童虐待防止等の人権啓発に取り組んだ。</p> <p>④コンサート中に火災が起きたことを想定する「避難訓練コンサート」を開催し、市民の防災意識の向上と実践を図った。</p> <p>⑤「なわてダンスドリルの祭典」、「昭和の歌コンサート」、「よしもお笑いライブ in 四條畷」等の自主事業を計30事業開催した。</p> <p>⑥四條畷市教育委員会主催の「夏休みキッズランド」に協力し、自主事業の企画運営をはじめ、様々な市主催事業について、人的、物的支援を行ったほか、公民館利用団体と共催による「懐かしのアナログレコード再生」事業や四條畷市文化協会との共催事業を企画、実施した。</p> <p>⑦（一財）地域創造の公共ホール音楽活性化事業を活用し、市内小学校2校でのアウトリーチを含むコンサート事業を実施した。</p> <p>（3）施設の情報提供</p> <p>①指定管理が設置したホームページにて市民ホールの空き状況や自主事業についてきめ細かに掲載。また、エントランスロビーのテレビモニターで、自主事業や市の事業のPR動画放映の他、特設のチラシラックを設け、現在、どのような事業が行われているか容易にわかるように掲示を工夫した。</p> <p>（4）安全確保対策</p> <p>①定期巡回時の点検やマニュアル等の整備の他、防災訓練の実践として、避難訓練コンサートを通じ、防災への意識啓発に努めた。</p>

維持管理状況	<p>(5) 保守点検</p> <p>①年間整備計画を策定のうえ、日常の保守管理及び法令等で定められた定期点検を実施、不具合箇所の調査を行い、修繕計画を市担当課に提出した。補修、修繕が必要な個所が発生した場合、専任の技術者が頻繁に対応のうえ、適切かつ安価な修繕を心がけた。</p> <p>②市担当課と協議し、台風被害への緊急対応や階段床面改修工事など、老朽化が進む建物や機器の整備、延命に努め、利用者が安心、安全して施設を利用できるよう修繕等を行った。</p> <p>(6) 清掃業務</p> <p>①日常清掃、定期清掃のほか、1日7回の定期巡回時に良好な状態を保つように意識、注意を払った。</p> <p>(7) 警備業務</p> <p>①1日7回の定期館内巡回の他、防犯マニュアルに従って職員に防犯の意識付けを行った。また、不審者対応の観点から男性を1人配置した。</p> <p>(8) 環境への配慮</p> <p>①ホール使用時の空調運転を季節ごとに対応し電力削減に努めるとともに、館内照明のLED化により省エネ効果を生み出した。</p> <p>②市民活動団体との協働により、緑のカーテンを設置することで良好な環境づくりを図った。</p>
利用状況	<p>前年度と比較し、市民ホールの利用状況は7件増加し、135件の利用であった。利用の内訳は貸施設として79件、市関連の事業は56件であり、貸施設利用が18件の純増となった。また、市外居住者の利用は昨年と同数の7件であった。</p> <p>利用者数は34,755人で、昨年より1,262人増加している。</p> <p>曜日別に見ると土曜日、日曜日の利用割合は55.6%であり、土日の利用は全体の過半数を占めたが、全体の利用率は39.5%にとどまった。</p> <p>公民館の利用状況は、午前、午後、夜間のそれぞれを1枠とすると前年より47枠減少し、5,112枠の利用があった。一方、利用者数は、81,003人で、前年度より1,742人増加している。</p> <p>部屋別利用率は、展示ホール：69.3% 視聴覚室：58.3% 音楽室：65.8% 実習室：30.0% 料理室：19.9% 相談室：20.0%等でギャラリー一室を除き全体では43.8%。</p>
収支状況	<p>収支状況は、収入が60,793,127円、支出が60,689,517円で、決算額は103,610円の黒字決算となった。</p>

3 利用者へのアンケート調査

項 目	30年度の状況
調査の実施内容	<p>対象：施設利用者</p> <p>調査機関：平成31年3月6日から平成31年3月31日</p> <p>調査方法：施設利用者へ受付窓口で調査依頼、記入後、アンケートボックスへ投函してもらう形式で実施。</p> <p>回答件数：96件</p>
調査の結果	<p>施設利用の感想：「非常に使いやすい」、「まあまあ使いやすい」が77.1%</p> <p>職員の対応：「非常に満足している」、「満足している」が96.9%</p>
主な苦情・意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイエなど、使用できるようにしてほしい。 ・展示ホールのモップをもう少し定期的きれいにしてほしい。机を使われたあとのほこりがすごいので、使用後の掃除を利用者を含めて伝えていただきたい。 ・冷暖房を各部屋で調節できるようにしてほしい。 ・施設の使用料をもう少し安くしてほしい。(時間単位で使えるようにしてほしい。)

4 施設の評価

管理運営の総合評価	○5 ●4 ○3 ○2 ○1
講 評	<p>施設の管理方針に掲げた事項について、多大な努力が見受けられる。特にハード面は、非常勤の技術職員が専門家の見地から修繕内容の見極めを行い、良好な修繕等を行っている点、台風被害への緊急対応、修繕計画を担当部局に提出し協議を行っている点、省エネ、環境負荷の低減を実現している点など、大いに評価できる。</p> <p>一方、ソフト面は、当初計画されていた事業のうち、一部未実施の事業があるが、当該事業は市主催事業等との重複等を避け、事業を効果的、効率的に実施するための判断と考えられる。</p> <p>また、市の関係部署や市民活動団体との協働による事業の実施を継続、拡充して積極的に推進しており評価できる。</p> <p>加えて、窓口の受付時間延長や市主催事業における担当課の打ち合わせにより、事業に不要な施設の開放を調整するなど、より多くの利用者に施設を利用してもらう取組みを実施している。</p> <p>利用件数については、市民ホールは新規利用団体の獲得により、昨年に引き続き増加しており評価。公民館は微減となっているため、現在施設を利用していない団体等への PR を含め、引き続き市関係部署等との連携のうえ、対策を検討されたい。</p> <p>予算収支では、今年度は103,610円の黒字となっている。上記の台風被害への緊急対応を含めた施設の質を低下させない管理運営に精力的に取り組んでいることから、収支状況について評価できる。</p> <p>以上の内容から、「計画内容を上回るために大変努力している」と判断し、評価を「4」とする。</p>

(参考) 評価の基準

- 5 計画内容を上回る（非常に満足できる）結果
- 4 計画内容をやや上回る（満足できる）結果
- 3 計画内容どおりの（妥当と判断する）結果
- 2 計画内容をやや下回る（不満が残る）結果
- 1 計画内容を下回る（非常に不満が残る）結果